

食育だより

令和7年4月号

大牟田市中学校給食センター

ご入学・ご進級おめでとうございます。色とりどりの花が咲き誇る中、希望に満ちあふれた新年度が始まりました。皆さんの学校生活がより充実したものとなるように、日々の給食を通して応援していきたいと思っております。1年間、よろしくお願い致します。



学校給食は「食」を学ぶ時間です!

学校給食は単なる食事の時間ではなく、「学校給食法」に基づき実施される教育活動です。栄養バランスのとれた食事を提供することで、成長期にある子どもたちの健全な発達を支えることはもちろん、健康によい食事や食文化、地場産物、食事のマナーなど、さまざまなことを学ぶための時間です。



学校給食の目標のポイント

※「学校給食法」
第二条より
抜粋・要約

1 適切な栄養の摂取
による健康の保持増進。



2 食事について正しい
理解を深め、健全な食生活
を育む判断力や望ましい
食習慣を養う。



3 明るい社会性と協
同の精神を養う。



4 自然の恩恵への理
解を深め、生命、自然を尊
重する精神や環境の保
全に寄与する態度を養う。



5 食生活が多くの人の
勤労に支えられているこ
とを理解し、感謝する。



6 伝統的な食文化を
理解する。



7 食料の生産、流通
及び消費について、正
しく理解する。



給食当番は
何を学ぶの?



給食当番活動では、衛生への配慮や配膳の仕方を身につけるだけでなく、自分自身で考えて行動すること、責任をもって役割を果たすこと、友達と協力して仕事をするなどことを学びます。

保護者の方へ

給食費改定と保護者負担額に関するお知らせです

保護者の方々よりいただいている給食費は食材料費のみにあてています。近年の物価高騰に伴い大幅な食材料費の値上げが見込まれていることから、令和7年度に給食費を改定することになりました。

なお、令和7年度は、市が物価高騰分を補助しますので、保護者の方々にご負担いただく給食費は令和6年度と同額になります。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

給食費月額 6,000円



保護者負担額
3,700円

市補助
2,300円



中学校給食の食物アレルギー対応の流れ

食物アレルギーとは、特定の食べ物を食べたり、さわったり、吸い込んだりして起こる有害な症状のことです。アレルギーを起こしやすい食品は、いろいろあり、症状もさまざまです。クラスの中に食物アレルギーの友達はいませんか。大牟田市中学校給食センターでは、食物アレルギーに対応した除去食を作っています。食物アレルギーについて正しく理解し、クラスみんなで確認し、間違えのないように対応してくださいね。

登校前

アレルギー対応生徒は、家族の人と一緒に食物アレルギー献立表を確認しましょう。



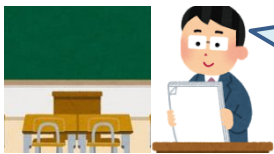
今日は除去食の日だから、給食時間になったら配膳室に行こう

今日は家から代わりのものを持参する日だから、忘れないように持っていこう



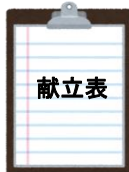
給食の準備

クラスみんなで食物アレルギーを確かめましょう。
今日の給食で食物アレルギーのある人はいるかな？



- ・今日〇〇さんの給食の〇〇は除去食です。
- ・今日の〇〇さんの給食の〇〇は家から持参したものを食べます。
- ・今日の〇〇さんの給食の〇〇は、自己対応です。(残すことがあります) 注意して配膳してください。

先生



アレルギー対応生徒とクラスみんなは、
教室に貼っているアレルギー用献立表を見る。

自己対応 (自分で取り除く) のとき

普通食の中から食べられない食べ物を取り除く。または、残す。



食べられないものはお盆にのせない。

除去食のとき

- ① 除去食を配膳室に取りに行く。(必ず本人が行く。)
- ② 配膳員の方に名前を言い、除去食ポットを受け取る。(ポットの名前を確認する。)
- ③ 空の食器を用意する。
- ④ 除去食の上から余ったおかずをつぎ足されるのを防ぐために、「いただきます」の前にポットから中身を出さない。

家から持参のとき

- ① かばんの中に保管しておく。(暑い日などは保冷剤などを入れてください。)
- ② 机の上に準備する。(蓋を開けない)

会食

最後の確かめが終わったら、会食です。
食物アレルギーの生徒はおかわりをしないでください。



食物アレルギーの給食の準備はできましたか？

先生



いただきます！

先生方は確認を行い、1つの料理に使用した器具を使い回さないようにしてください。

他の生徒は除去食と普通食が混ざらないように注意！
あまった普通食を除去食に注ぎ足ししないようにしてください。

**アレルギー対応生徒は
おかわり禁止**

除去食ポットは、配膳室に持って行き、配膳員さんに返しましょう。

※今まで出なかったのに、初めて症状が出る人もごくまれにいます。そのような場合は、先生にすぐ知らせましょう。

(皮膚症状)



赤み、じんましん、はれ、かゆみ、湿しんなど

(粘膜症状)



目の充血、はれ、かゆみ、鼻水、口の中のかゆみなど

(呼吸器症状)



のどの違和感、かゆみ、締めつけられる感じなど

(消化器症状)



気持ちが悪くなる、おう吐、腹痛、下痢など

アレルギー
の主な症状